

新型コロナウイルス関連の対応について【経済観光局】

1 新型コロナウイルスに係る事業者向けワンストップ相談窓口

(1) 相談実績

相談業務（経営相談・融資制度利用・税・感染症予防等）（1/29～7/27）

累計相談件数：23,070件（来所9,687件、電話13,383件）

(2) 融資制度（新型コロナウイルス対応支援資金）

ア 認定件数：14,517件（7/27現在）

【業種】

建設業 3,152件、小売業 2,025件、飲食業 1,877件、不動産業 971件、医療・福祉 868件、卸売業 714件、製造業 467件、運輸業 432件、情報通信業 267件、電気・ガス・熱供給・水道業 189件、宿泊業 137件、教育・学習支援業 93件、保険業 56件、林業、鉱業 3件、サービス業 3,266件

イ 信用保証協会による融資承諾件数・金額

7/17現在 2,307件 681億4,106万円

2 サッポロさとらんど炊事広場の令和2年度利用中止について

新型コロナウイルス感染症対策に伴い、利用休止を継続していたサッポロさとらんど炊事広場について、令和2年度の利用を中止することといたします。

公園施設（水遊び場、炊事広場）の令和2年度利用中止について

新型コロナウイルス感染症対策に伴い、利用休止を継続していた公園施設（水遊び場、炊事広場）について、下記のとおり令和2年度の利用を中止することといたします。

記

1 水遊び場

市内公園に設置されている全ての水遊び場 72公園

2 炊事広場

市内公園等に設置されている全ての炊事広場 7箇所

（川下公園、厚別川緑地、藻南公園、十五島公園、五天山公園、前田森林公園、札幌ふれあいの森）

「接待を伴う飲食店」関係者の新型コロナウイルス感染症の感染増加に伴う対策方針

< 基本的な考え方 >

ススキノ地区の「接待を伴う飲食店」でクラスターが発生（7月15日公表）するなど感染者が増加傾向にある

⇒ 感染拡大防止を推進し、持続的な社会経済活動につなげていく

< 取組の3本柱 >

- ① 『実態の把握』 …… ハイリスク業態の従業員等への重点的なPCR検査の実施
- ② 『感染予防の推進』 …… 事業者に対するガイドライン遵守の呼びかけ
- ③ 『行動変容の促進』 …… 情報発信によるハイリスク業態、行為等の周知

< 取組を推進する組織体制 >

機動的かつ集中的な取組の推進 ⇒ 札幌市と北海道の合同による対策チームを設置

≪ 名称 ≫ 札幌市・北海道合同感染症対策チーム

≪ 構成 ≫ 保健所長をリーダーとし、専任職員を配置、PCR検査や疫学調査体制を強化、北海道との連携、国立感染症研究所専門家による助言を踏まえた防止策の実施

< 具体的な取組 >

① ススキノ地区臨時PCR検査センターの設置（7月23日（木・祝）から）

- ・ ススキノ地区内の従業員等徒歩で受検可能な場所
- ・ 受検者へのアンケートによる状況把握

検査は対象を“幅広く”実施

- ・ 接待飲食店等の従業員（無症状可）
- ・ 症例発症店舗の従業員、利用者（無症状可）
- ・ その他店舗の従業員（有症状のみ）

② 事業者向け感染拡大防止対策の推進

- ・ 接待を伴う店舗向けにポスターを配布
- ・ 南4（36号線）～9条、西2～6丁目の店舗に7月20日（月）から順次配布（約3千枚）
- ・ 従業員向けのPCR検査推奨、店舗内での感染防止対策、「北海道コロナ通知システム」の周知

③ 分析結果を踏まえたハイリスク業態・行動等の呼びかけ

- ・ 調査結果を踏まえハイリスクな業態、行動を分析し市民などへ分かりやすく発信

7月1日以降の陽性者数
（7月27日現在）

全体	102名
うちススキノ 夜の街関連 （割合）	41名 （40%）

臨時PCR検査センター検査数

170件
（7月23日～27日実施分）